

笑顔と

神奈川県立金沢支援学校

やさしい心



学校だより



学校ホームページ

第214号 令和7年7月号



心を通わせるエピソード

本日1学期の終業式が行われ、明日から39日間の夏季休業期間に入ります。児童・生徒334名でスタートした今学期、本校舎では特別教室が教室に変わる中、限られたスペースを譲り合いながらも、充実した活動ができるよう工夫してきました。

6月の後半からは真夏日が続くことで、予定していたグラウンドでの活動や近隣郊外学習についても実施の可否を検討し、時間短縮をしたり、場合によっては取りやめたりすることもありました。1年の3分の1以上を熱中症に注意しながら生活するようになってきていますが、学校でもどうしたら安全に行えるか、活動を保障できるか、その都度考えて調整しています。『熱中症予防情報をチェックする』、『日陰に入る』、『水分・塩分を取る』、『無理をしない』など、繰り返し伝えることが、この先もこの気候の中で生活する上で活かされてくると思っています。夏休みはご家庭等でも安全に、そして夏ならではのことを楽しみつつお過ごしください。

さて、1学期の思い出話をひとつ。6月の終わりのある日、登校してきた小学部の児童から折り紙作品をプレゼントされました。大好きなキャラクターを毎日折って持って来ているそうです。「いいね～」と伝えると、しばらくして私の手の中にスルッと入れてくれました。うれしかったです。少し遡って4月に高等部のクラスでも「小学部の子にあげるんです」と言って、数名の生徒が折り紙を折っていました。もっともっと前のことになりますが、ここではない別の場所、特例子会社で、社員さんが鶴を丁寧に折っている姿にふれたことを思い出しました。文書に添えて郵送される折鶴とのことでした。一つの折り紙ギフトから心を通わせるエピソードを思い出しました。

4月の入学式・始業式でお願いした通り、児童・生徒は自分のできる方法であいさつをしてくれました。2学期も再会のあいさつができることを楽しみにしています。

教頭 原島典子





B部門小・中学部紹介



小学部は、4月に18名の新生を迎えて、総勢88名でスタートしました。初めは新しいクラスの友だちや担任の先生にドキドキした顔の子もいましたが、今ではすっかり慣れて校舎に元気な声が聞こえ、笑顔もたくさん見られます。どの学年の児童も朝の支度や着替えなど自分でできるよう目標に向かって日々積み重ねて取り組んでいます。生活の授業では、友だちが操作したタブレットの映像が変化する様にくぎ付けになる真剣な子ども達の顔をたくさん見ることができました。プールの授業では、潜って水底に沈んでいる宝物をとる子もいれば、プールに足を入れることができた！水遊びを楽しめた！という子もいます。それぞれ自分が「できた！！」という経験を得ることができました。

自分でできることを少しずつ増やしていくこと、授業を通して挑戦して「できた！」という経験を重ねていくことを大切にしながらこれからも取り組んでいきます。

(小B学部長 藤井 桜子)



中学部では、一人ひとりに応じた支援を目標に学校生活を毎日楽しく過ごせるように取り組んでいます。今年度は、新生16名を迎え、2年生19名、3年生19名の総勢54名でスタートしました。1年生は、中学3年間で大きく羽ばたいて欲しい、たくさん成功（成長）してほしいという願いを込めて、学年通信のタイトルを「fly high!」と名付けました。中学部の生活リズムにも慣れ、毎日元気に活動しています。2年生は、昨年と比べ、心も体も成長し、自信をもって取り組める活動が増えてきました。思春期真っ只中！パワーがみなぎっています。3年生は、最高学年として、中学部全体を引っ張ってくれる頼もしい学年です。

これまで身に付けてきた力を発揮し、高等部に向けて自分らしさを大切にしながら頑張っています。学年を超えて、共に学びあい、協力しあう中学部。笑顔あふれる1年になるよう取り組んでいきたいと思ひます。

(中B学部長 本田 侑子)



新生や転入生は1か月も経つと学校に慣れ、朝の昇降口の雰囲気は元気な挨拶で明るく、賑やかになりました。登校後は、小学部は身支度をしてからチャレンジタイムで体力づくり、中学部も身支度ができたら係りの仕事など、個々の課題に励んでいます。今年度も6月から異例の暑さになり、暑さ対策の工夫をしながら活動することもあります。子どもたちは暑さに負けず、学習や行事に明るく取り組んでいます。これからも頑張る子どもたちの応援をよろしくお願いします。

(B部門長 米満 和孝)